

梅雨になっても降水量が少なかったため、山畑に定植したサツマイモほか夏野菜はかなり傷んでいます。それでもジャガイモ、カリフラワーは良好です。寒かったため害虫の出が少し遅かったようですが、今はシロチョウ、テントウムシダマシ、ウリハムシなど、被害が大きいです。シロガ、マツヨイグサ、ヨモギなどの雑草も生育旺盛で、草取りが追いつきません。小麦、大麦は色づいてきました。陸稲は雑草のなかで何とか生き残っています。

イギリスの田舎に観光旅行に行ってきました。ポター、シェイクスピア、ワーズワース、ローリング、トーマス・モアのゆかりの家などを訪ね、湖水地方やコッツウォルズの農村景観を楽しみました。本物の機関車トーマスにも乗りました（写真）。買ってきたレタスなどは成田で検疫を受けて、持ち帰り種子を鉢に播いたら、すぐに発芽しました。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。地方「辺境」の地道な市民活動にはほとんど関心がもたれませんので、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけると嬉しいです。

## ○報告

1. FAO 世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『**雑穀街道**』では、**雑穀街道普及会**の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いいたします。雑穀街道普及会として、山梨県、丹波山村、小菅村、上野原市、神奈川県、相模原市の首長にお手紙をお送りしました。それぞれのご担当者からご対応があれば、趣旨説明に伺いたいと思います。今のところ、山梨県農政部からは、市村の賛同が得られた後に、相談に応じる旨の親切なご回答がありました。その他、新聞社や自治体からの反応はありません。チラシは5000枚作成、公民館、道の駅などにおいていただきます。

下記ホームページに活動の現況を順次更新していきます。関東山地で雑穀調査研究を始めたところからの文献や資料を掲載しています。FAO 世界農業遺産の日本分関連資料は収集してありますので、「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」の移転後できるだけ早く、見ていただけるように再開します。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

## 2. 植物と人々の博物館の移転

小菅村中央公民館から村内の細川邸付属倉庫に移転しました。ここは2階建て、各55畳の広さです（写真）。2階フロアに、世界中から収集した雑穀さく葉標本庫、図書資料、民具などを収容できました。引き続き、エコミュージアム日本村のコア・ビジターセンター、さらに雑穀街道の情報資料拠点、東京学芸大学の交流協定拠点などとして機能します。地元の皆様に利用していただけることを期待します。東京学芸大学冒険探検部員、自然文化誌研究会ログビルダーはじめ、若者たちが引っ越しの力仕事をしてくれました。とてもうれしく、たくさん感謝します。

小菅村の民具の措置については、とりあえず別の倉庫に収容して、その後、細川邸母屋を古民家再生で改修してから、2・3階に展示することになるようです。

## 3. ミレット藤野・自給農耕ゼミ

第1回は、日時：5月28日（日）、場所：藤野駅北の畑。西原の中川さんに栽培実技を教えてくださいました。6名の参加者と一緒に、約5アールに11人で雑穀の播種をし、午後は「雑穀とは何か」の講義をしました。第2回は、6月25日に移植、間引きや除草作業などの予定でしたが、生育状況や天候のため、2度延期になりました。2回分の作成した講義資料は、ホームページ「雑穀街道」のなかで、eラーニングできるようにします。

ミレット藤野の関係者の皆様と懇談して、こちらから相模原市緑区長に、**雑穀街道**についてご説明くださることになりました。

4. NPO **さいはらで雑穀街道**をめぐる基礎調査をトヨタ財団の助成によってするそうです。雑穀街道普及会として協力できるとよいと思います。

## ○予定

1. 作業予定日：6月30日（金）、7月7日（金）、14日（金）、20日（木）、28日（金）ほかの予定です。

移動先の植物と人々の博物館では、順次、図書・資料や民具の展示を再開していきます。作業にご協力いただきたく、よろしくお願ひします。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

[kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

## 2. ミレット藤野で雑穀栽培ワークショップが企画されています。

5月下旬から秋まで6回、播種から加工・調整、調理まで実技と講義を行います。詳細は下記ホームページにあります。

<http://www.milletimplic.net/collegefores/milletfujino17.pdf>

申込先：メール [milletfujino@gmail.com](mailto:milletfujino@gmail.com) ファックス 042-687-5639

第2回延期、日程未定。第3回 日時：7月11日（日）。場所：JR中央線藤野駅、北隣接の畑（農業生産法人・藤野倶楽部）。土寄せなどの作業、「在来種を受け継ぎ、未来につなげる」の講義を予定しています。

## 3. 提案

### 1) 第40回環境学習セミナー（案）

話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、2・3人の講師をお願いして話し合いたいと考えます。日時：秋。場所：上野原市。実施経費について何らかの助成が得られたら、企画を進めたいと思いますので、ご意見をお寄せください。

### 2) 日本村塾ゼミ（読書会継続）

皆様お忙しく、なかなか開催できませんが、希望者があれば開催します。ご意見、ご要望をお知らせください。自給農耕ゼミはミレット藤野で開催することになりましたので、読書会は下記2ゼミで行います。

**民族植物学ゼミ第5回** 日時・場所：未定。

①農耕文化について学び直したいと思います。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然—生態学的研究』、中央公論社、所収。

②自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

**扶桑園ゼミ第3回** 日時・場所：未定。

①明治維新からの日本の在り方を学び、考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新—現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代—洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。その他。

②柳田民俗学「稲作単一民族説」の瑕疵や関連して新旧憲法の比較なども話し合ってみたいです。

4. **民族植物学第11号**の原稿締め切りは2017年7月末です。ご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培、信仰論などを準備しています。・・・バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

5. 『**雑穀のインド亜大陸**』は民族について学びながら、ネパール・ブータン、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。未定稿ですが順次章ごとに公開し、必要に応じて改訂していきます。同じく、『**環境学習原論**』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用して下さる場合は、「木俣美樹男（2017 未定稿）」として下さるようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミュージーズ研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤彦彦（山梨県小菅村） [npo-inch@wine.plala.or.jp](mailto:npo-inch@wine.plala.or.jp)

公式HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 [kibi20kijin@yahoo.co.jp](mailto:kibi20kijin@yahoo.co.jp)

個人HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>



\*\*\*\*\*

**写真**

**植物と人々の博物館（細川邸付属倉庫）**



**ミレット藤野の実習園 2017-6-25**



**イギリスの田舎**



コッツウォルズ地方のイギリスー美しい村バイブリーの家庭菜園。





バイブリーの民家。コッツウォルズ地方チップング・カムデンの茅葺屋根の家。



シェイクスピアの生家の食堂。ワーズワースの家ダヴ・コテージ。



ウィンダミア湖畔の蒸気機関車トーマスのモデル。ローリングがハリーポッターを書いていたカフェ。



リバプール大学の花壇にトウジンビエが植えられている。ロンドン塔、トーマス・モアの獄舎。



名物料理フィッシュ・アンド・チップス。イングリッシュ・ブレックファスト。